「咲っく南花台プロジェクト」報告会

「咲っく南花台プロジェクト」の経過と今後の展望について

H28.12.26

咲っく 南花台

【河内長野市】

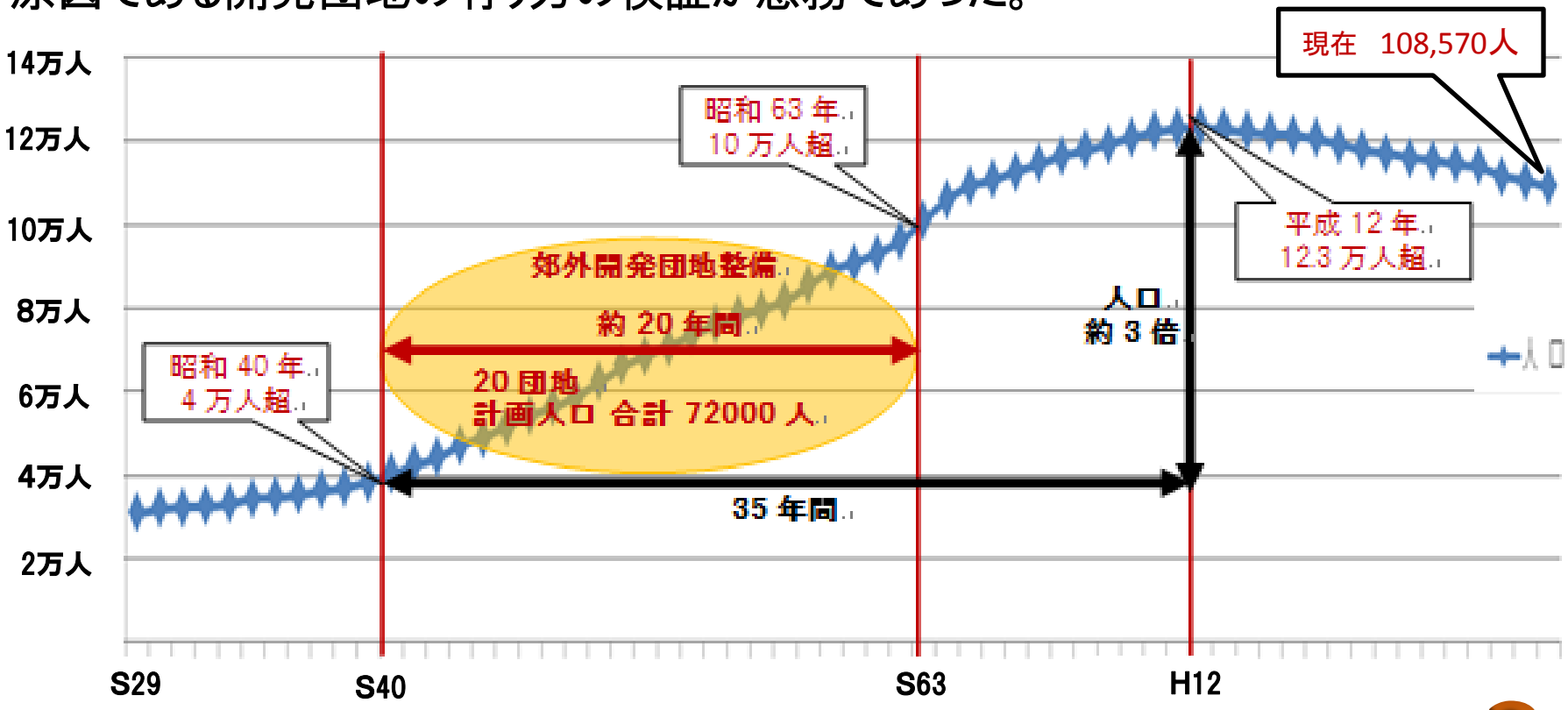
「咲っく南花台プロジェクト」立上げのきっかけ

咲っく 南花台

咲っく南花台プロジェクト
立ち上げのきっかけ

1. 開発団地再生モデル構築の必要性の高まり

本市は他市に比較し人口減少・少子高齢化が急速に進んでいる、その最も大きな原因である開発団地の有り方の検証が急務であった。



多くの開発団地を短期間で整備し、急激な人口増加を図った。

咲っく南花台プロジェクト
立ち上げのきっかけ

2. 南花台西小学校跡地活用

平成25年3月に閉校した南花台西小学校跡地の有効活用が急務であった。

・当初は地域コミュニティ施設として検討したが、課題解決が困難となり断念

・高野山大学誘致に取り組んだが、大学組織内での合意が得られず断念

まちづくりと一体的に検討し、地域の活性化に繋がる効果的な施設誘致を、地域の合意形成を図りながら進めていく。

咲っく南花台プロジェクト 立ち上げのきっかけ

3.「団地再編COMPETITION 2013」の実施

関西大学がUR南花台団地を対象地にし、「団地全体の仕組みの再編、その結果としての空間の再編、新たな暮らしの提案」をテーマとして実施

南花台を研究のフィールドにする関西大学

応募登録　172件
提出作品　23作品

咲っく南花台プロジェクト 立ち上げのきっかけ

4.「スマートエイジング・シティ」の提言

大阪府市医療戦略会議7つの提言の1つである「スマートエイジング・シティ」の実現に向け、郊外型開発団地のモデル地区として南花台が選定された。

	戦略案		メインとなる主体		キーとなる視点		ねらい	取組みに関わる他の主体
①	予防・疾病管理、府民行動変革	=	府民 保険者等	×	主役は消費者 治療から予防へ	→	健康指標の向上 健康格差の解消	保健医療提供機関等、基礎自治体、大阪府等
②	ﾚｾﾌﾟﾄﾃﾞｰﾀの戦略的活用	=	保険者等	×	支払者の行動変革 医療費適正化 医療の標準化	→	医療の価値追求 情報管理産業化	府民、保健医療提供機関等、研究機関、大阪府等
③	医療情報の電子化とビッグデータの戦略的活用	=	大阪府	×	創薬等ﾋﾞｼﾞﾈｽ支援 医療データベース構築	→	医療の価値追求 情報管理産業化	保険者等、保健医療提供機関等
④	地域密着型医療・介護連携最適モデル実現	=	医療・介護従事者 保健医療提供機関等 基礎自治体	×	多職種・多機関連携 市町村の主体性	→	保健医療ｻｰﾋﾞｽ持続可能性確保	大阪府
⑤	増益モデル型民間病院の高度化・経営基盤強化	=	民間病院 大阪府	×	増益モデル型 地域や規模の経済 資金調達システム	→	保健医療ｻｰﾋﾞｽ持続可能性確保	大阪府
⑥	スマートエイジング・シティ	=	基礎自治体 大阪府	×	サプライチェーン 仕組み・構造変革 まちづくり	→	重要戦略産業振興 生活総合産業化 Aging in Place	府民 保健医療提供機関等 企業
⑦	スマートエイジング・バレー構想（産業振興）	=	大阪府	×	研究・開発 実証インフラ 認証制度	→	重要戦略産業振興 生活総合産業化 Aging in Place	企業・研究機関等

「咲っく南花台プロジェクト」の経過

咲っく 南花台

「咲っく南花台プロジェクト」の経過

■平成26年10月

「南花台スマートエイジング・シティ」団地再生モデル事業立ち上げ

・毎月1回の総合研究会と地域ワークショップを実施し、地域の声を収集しながら、まちづくりを研究

■平成27年 4月

「南花台スマートエイジング・シティ」団地再生モデル事業本格実施

（地方創生先行型交付金）

・「健康寿命の延伸」と「元気な住民の活躍の場づくり」を柱とした総合的なまちづくりを進めていく
・「健康仲間づくり」「生きがいづくり」「みんなの拠点づくり」「まちの情報発信」「子育て・子育ち環境づくり」「ストック活用」の6つのプロジェクトによる多様な取組みを同時多発的に展開

■平成27年10月

「コノミヤテラス」オープン

・コノミヤ南花台店空き店舗を無償で貸与いただき整備
・地域のまちづくり拠点の有り方を使いながら考える。
・コノミヤテラスを中心にまちの課題解決につながる仕組みを構築

「咲っく南花台プロジェクト」の経過

■平成28年 4月

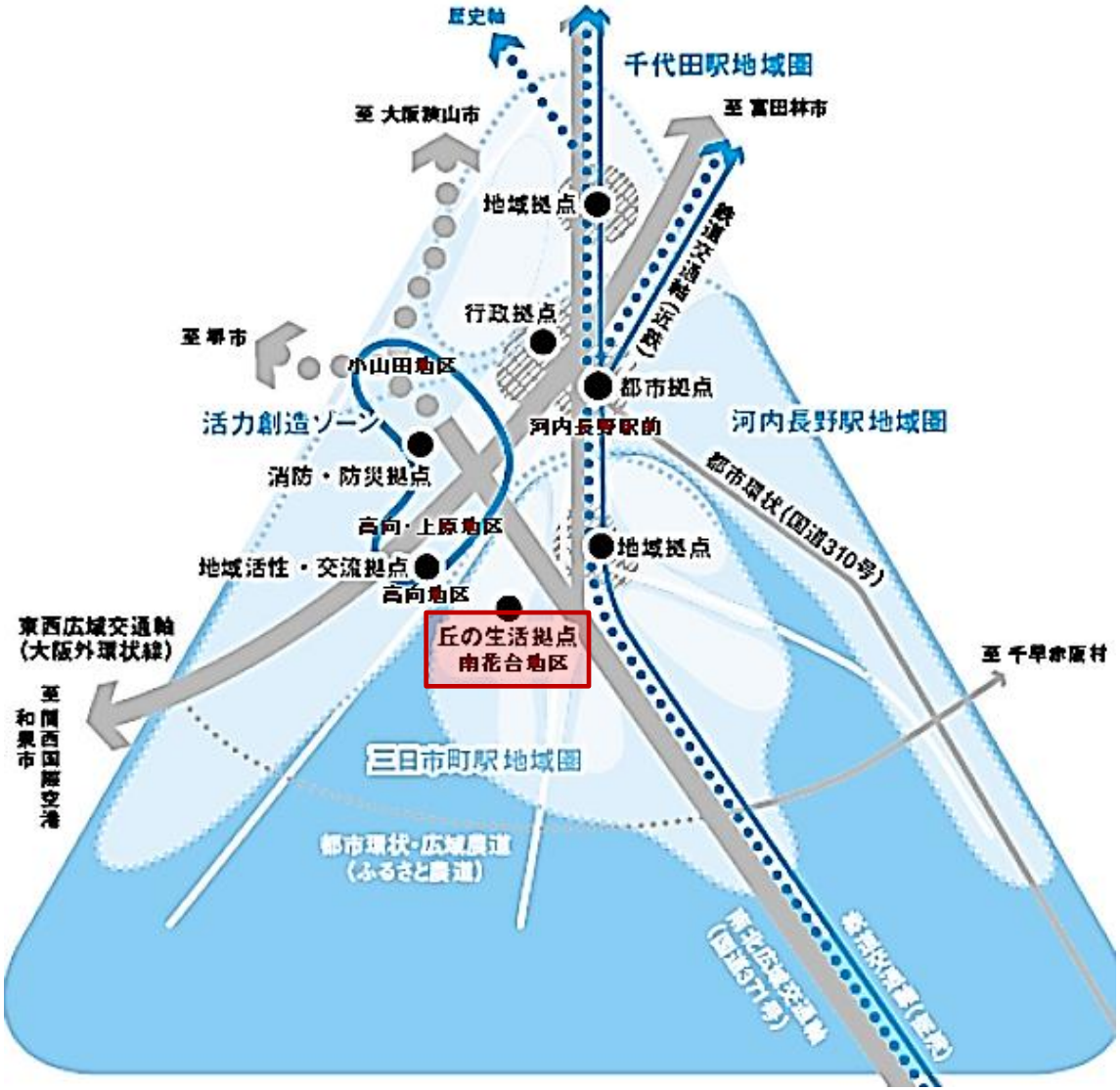
第五次総合計画に南花台を「丘の生活拠点」と位置付け

「丘の拠点」（南花台）創生事業へ引き継ぐ

（地方創生加速化交付金）

・河内長野市南部の開発団地の生活を補完できる拠点化を目指す。

・平成26年度、27年度の取組みの具体化



「咲っく南花台プロジェクト」の経過

■平成28年6月

南花台西小学校を活用した錦秀会看護専門学校の設置

⇒平成28年1月覚書締結
⇒平成28年3月基本協定締結
⇒平成28年6月土地・建物契約
⇒平成29年1月校舎改修工事完了予定
⇒平成29年2月学校法人・看護師養成施設認可取得予定
⇒平成29年4月開校

校舎デザインは関西大学が設計提案

運動場に人工芝球技場設置

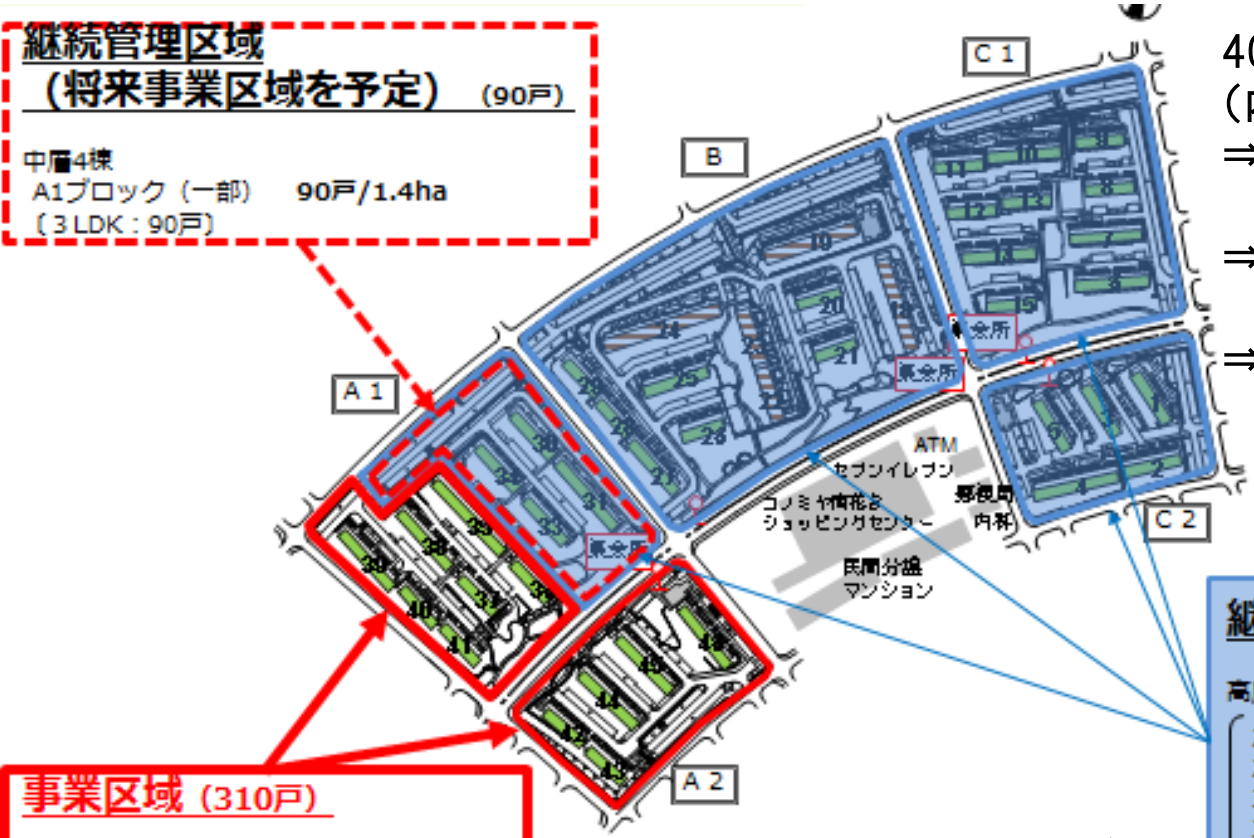
運動場・体育館を地域開放

※地域との交流を通じ、学生が多様な経験ができる、特色ある教育を目指す。

「咲っく南花台プロジェクト」の経過

■平成28年12月26日

南花台団地集約型団地再生事業に関するまちづくり基本協定締結



継続管理区域
（将来事業区域を予定） （90戸）

中層4棟
A1ブロック（一部） 90戸/1.4ha
（3LDK：90戸）

事業区域（310戸）

中層12棟

A1ブロック（一部）	180戸/1.3ha
A2ブロック	130戸/1.4ha
計	310戸/2.7ha

（2LDK：21戸、3DK：289戸）

400戸／1217戸　約4.1haの集約
（内、90戸　約1.4haは将来事業区域）
⇒平成29･30年度
　集約対象団地居住者移転
⇒平成31年度
　集約建築物撤去
⇒平成32年度
　新機能誘致

新たな入居促進策
12/16より近居割ワイドを導入

継続管理区域（904戸）

高層5棟、中層26棟

2DK	64戸
2LDK	65戸
3DK	429戸
3K	146戸
3LDK	200戸

新機能誘致による地域活性化を目指す

「咲っく南花台プロジェクト」今後の展開

咲っく 南花台

「咲つく南花台プロジェクト」今後の展開

■「咲つく南花台健康クラブ」による魅力的な健康づくり

◆ タニタ健康プログラム

【内容】
■活動量計、体組成計を活用し、データを蓄積しながら、からだの変化の見える化を図る。

◆ 健康講座

【内容】
■島田病院・大阪大谷大学による健康講座

継続的な健康づくり

◆ スタッフ・サポーター会議

【内容】
参加者の継続状況を把握しながら、健康づくりをサポート

「タニタ監修メニュー提供企画」実施調整中

大阪府「 スマートエイジングシティ」 地方創生戦略事業による、地域店と(株)TANITA(以下、タニタ)の食コラボ企画(10店舗を予定)2月販売開始

「咲つく南花台プロジェクト」今後の展開

■「まちの保健室」H29.4立上げ予定

◆ 健康相談

【内容】
■スタッフの専門分野を活かした相談会を定期的に実施
【狙い】
■支援を要する住民の把握と支援の場

◆ カフェ

【内容】
■悩みを持った住民が訪れやすいカフェづくり
【狙い】
■悩みを持った住民間の交流の場
■悩みを持った住民の生活を変えるきっかけづくりの場

多様な住民へのきめ細かな支援の創出

◆ スタッフ会議

【内容】
■相談内容の情報共有と支援・連携団体との調整
【狙い】
■相談 内容の情報共有を行い、最適な対応を検討する場
■訪れやすいカフェ運営に関する研究・検証の場

【連携団体】
・社会福祉協議会　・中部包括支援センター・河内長野市医師会　・地域福祉委員・地域民生委員児童委員

「咲つく南花台プロジェクト」今後の展開

■買い物応援プロジェクト 試験実施（12/2～15）

■地域住民による買い物支援登録サポーターが高齢者と一緒に歩きながら配達

■2ケースまで　300円

■受取場所　　コノミヤテラス

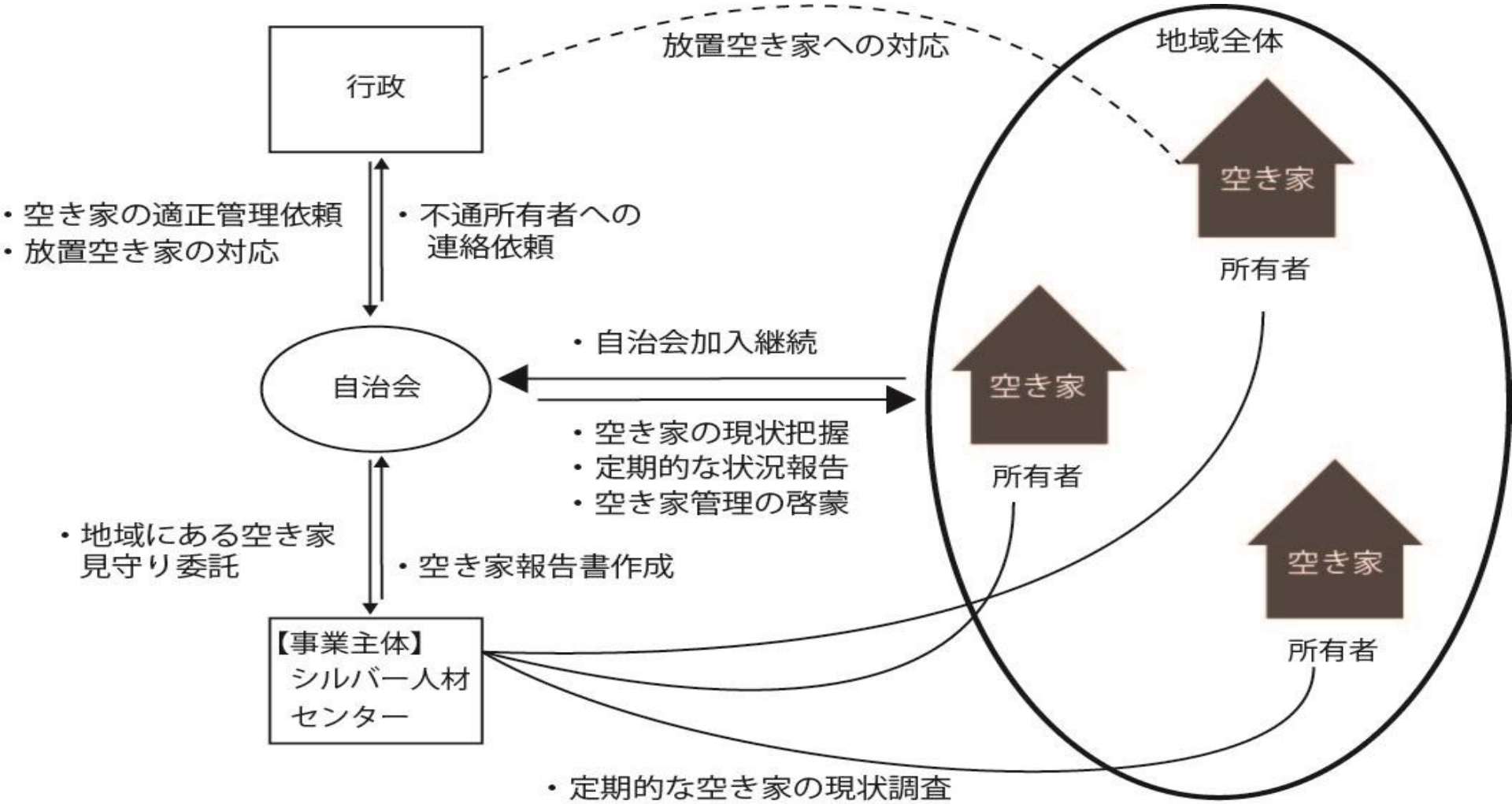
■利用者　　3名

継続実施決定

買い物応援をきっかけとし、多様な生活支援の生み出しを目指す。

「咲つく南花台プロジェクト」今後の展開

■空家を見守る仕組み構築



空家・空地の有効活用を同時に検討

「咲つく南花台プロジェクト」今後の展開

■ニコニコサロン・すまいるルーム・ファミリーサポート

◆ ニコニコサロン
◆ すまいるルーム

【内容】
■福祉委員・民生委員・自治会の方々が遊びの広場を開催

◆ ファミリーサポート

【内容】
■子育ての援助を受けたい人と子育ての援助を行いたい人が会員となり、地域で助け合う仕組み

子育て支援

◆ スタッフ会議

【内容】
■ニコニコサロン、すまいるルーム、ファミリーサポート実施に係る調整

市が実施している子育て制度を活用し、地域の子育て支援を充実

「咲っく南花台プロジェクト」今後の展開

■コノミヤテラス

地域住民による包括的な支援を通じ、多世代交流を生み出す多機能拠点を目指す。

住民主体

まちの保健室

買い物応援プロジェクト

空家見守り

健康支援機能

生活支援機能

子育て支援機能

環境づくり機能

咲っく南花台健康クラブ

ニコニコサロン

すまいるルーム

ファミリーサポート

多世代交流の場

「咲つく南花台プロジェクト」今後の展開

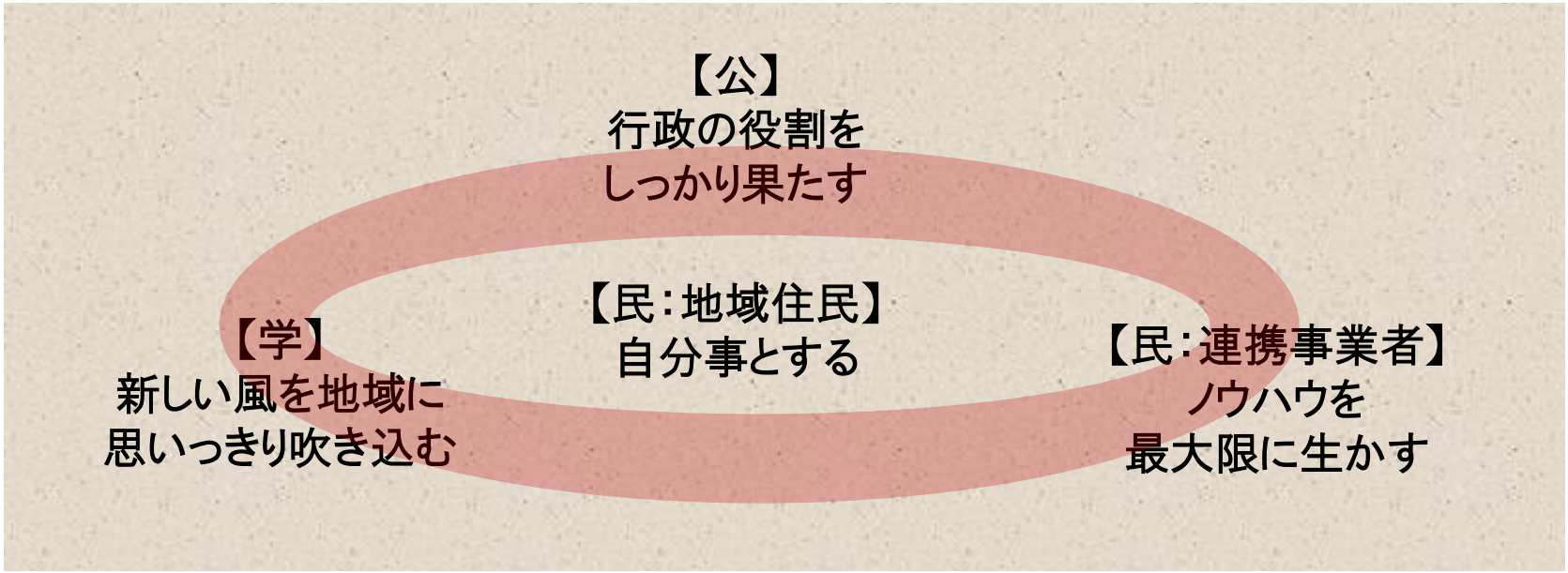
コノミヤテラス	機能充実 多世代交流促進
錦秀会看護専門学校	学生の生活・活動の場 連携強化
UR団地 集約型団地再生事業	新機能誘致 入居促進
南花台商店会立上げ	地域事業者との連携
用途地域の見直し	第1種低層住居専用地域 UR団地集約部分・公園

南花台の将来

咲っく 南花台

南花台の将来

■周辺地域の生活を補完できる生活拠点（地域経済活性化）
■子育て世代に魅力的な開発団地（転入促進）
■注目されるまち（開発団地モデル都市）
■常にアップデート（時代の変化への対応）しつづけるまち



「咲っく南花台プロジェクト」報告会

「咲っく南花台プロジェクト」の経過と今後の展望について

H28.12.26

咲っく 南花台

おわり

ご清聴ありがとうございました